

「ひん」や「ん」や「今年」の漢字に学ぶ、人がみずから動くブームを作る方法とは ～殿村美樹氏特別講演会～

11月13日、新潟県信用保証協会との共催で特別講演会を開催しました。当日は、ゆるキャラブームの先駆けとなった滋賀県彦根市のマスコットキャラクター「ひんちゃん」の仕掛け人で、「佐世保バーガー」「うどん県」「今年の漢字」といった全国的ブームのプロデューサーとしても知られるTMオフィス代表取締役・PRプロデューサーの殿村美樹氏が、「ブームをつくる人がみずから動く仕組み」をテーマに講演しました。

【殿村氏講演概要】

PRとは「Public Relations」のことであり、アメリカ発祥のwin-winのコミュニケーション方法。この考えは、地域や中小企業の魅力発信に効果的であり、日本人の7割を占める地方在住者、国内の99・7%を占める中小企業を元気にする特効薬である。お金をほとんどかけず、イノベーションを起こすことができる。



殿村氏による講演風景

PRには、モノをどんどん大きく見せていく足し算の方法と、PRを利用した引き算の方法があるが、引き算の方法が効果的である。ビジュアルインパクトを与え、印象に残っているうちに畳み掛けるように、みずから動いている「人」に光を当てていくことで、話題を呼び、行ってみたい、試したいと思わせるように仕向ける。

人がみずから動く仕組みはイソップ童話の北風と太陽で表現できる。北風は力いっぱい風を吹くことで、マントを脱がそうとしたのに対し、太陽は光をさんさんと浴びせることで、みずからマントを脱ぐように促した。つまり、北風・お金の力で人を動かそうとする広告、太陽・光を当ててみずから動くようにする広告、である。

マスコミを頼って東京から記者を呼ぶ必要はなく、積極的に無料の記者クラブを利用すべきである。

PRを実践する際、時代に合った伝え方が重要。ポイントは「心」が動く共感ストーリー、10文字以内、インパ

クトの強いビジュアル、の3つ。広くPRするためには、マスメディアだけでも、ソーシャルメディアだけでも難しい。マスメディアで取り上げ

食品関連小規模事業者の販路開拓を支援

「フードメッセinにいがた2017」

「フードメッセinにいがた2017」が11月8日～10日の3日間、朱鷺メッセ展示ホールにおいて開催されました。国内外から食品関連や調理機器メーカーなど過去最多の450社が出展し、3日間で1万人超が来場しました。

当所が昨年度より実施している小規模事業者への出展支援事業を利用して、会員事業所10社が出展し、販路開拓に向けた自社製品のPRや、新規顧客獲得のための情報収集に努めました。

今年は、出展効果を最大限高めるために、マーケティングプランナーが当

られると国内外広く周知でき、SNSでは特定の対象には効果的に周知できる。この違いを理解し、PRに生かして欲しい。

日の支援にあたり、POPの掲示や商品の陳列方法、試食の提供等についてアドバイスを行いました。出展者から寄せられた主なコメントは以下のとおりです。

○初めての出展で、開催前は不安だったが、成果に結びつき出展して本当に良かった。出展者同士で交流を持てたことも有意義であった。

○自分がターゲットとしていた事業所はもとより、自社では想像していなかった事業所からもお声掛けいただき、販路の拡大につながりそうだ。

○イベント出展とは違う商品を陳列することができ、違うターゲットに向けてPRすることができた。この出展を活かし、今後の販路開拓に繋げたい。

○東京の大規模展示会に出展する以上に成果につながった。来年も出展したい。今回は平成30年11月7、8、9日の開催を予定しており、参加希望の小規模事業者は是非、当支援事業をご活用ください。



当所支援ブース入口 (参加会員事業所:10社)

10年会員交流会を開催

11月14日、当所に入会して10年を迎えた会員事業所を対象に「新潟商工会議所10年会員交流会」を14事業所の参加で開催し、当該会員でもある山田コンサルテイング事務所中小企業診断士の山田まり子氏が「強みを生かして売上アップ」知的資産経営のススメ」をテーマに講演を行いました。

山田氏は、知的資産とは自社の強みのことと述べた上で、「自社の強みをしっかりと把握すること、それをコミュニケーションツールやマネジメントツールとして活用することで経営の質や事業価値を高めることができる。知的資産経営で事業の継続



知的資産について語る山田氏

と発展につなげていってほしい」と強調しました。

講演会終了後は、参加事業所が自社のPRプレゼンを行い、その後の懇談会では活発な意見交換が図られるなど、会員同士の交流と親睦を深めました。

さらなる交流促進に期待大！
新潟-台北航空路線が定期運航化



ファアースタン航空の機長らへの花束贈呈

ファアースタン航空(台湾)が昨年11月からチャーター運航を行っていた新潟-台北線が、今年の11月に定期運航化され、運航初日の同3日には、新潟空港で記念セレモニーが行われました。

また、同日から6日にかけて、新潟空港整備推進協議会会長代理の益田浩副知事を団長とした官民による

記念ミッション団が派遣され、当所からは霜鳥雅徳副会頭が参加し、台湾の旅行会社との意見交換などを通じて同路線を積極的にPRするなど利用促進を図りました。

ファアースタン航空
運航スケジュール

便名	機種	台北(桃園)→新潟
FAT 621	MD 83	(月曜日) 8:45→13:00
		(金曜日) 8:25→13:00

便名	機種	新潟→台北(桃園)
FAT 621	MD 83	(月・金曜日) 14:00→17:15

月・金曜日の運航となります
(日本との時差: -1時間)

古町エリアの魅力再発見！
第8期ふるまちなち大学を開設

当所では、11月と12月にかけて「第8期ふるまちなち大学」を全4回の日程で開講しています。(受講者は22名)

本事業は、多くの方に古町の魅力を知ってもらい、古町の良さを広めてもらうこと、そして古町地区への来街頻度を高める目的で毎年実施しており、11月16日の第1回では、白山神社でご祈祷をおこなった後、上古町商店街の店舗を見学しながらまち歩きを行いました。

2回目以降の開催では、人情横丁との共同企画である各専門店の体験講座や、古町6、7、8番町の個店を訪問。社長や商店街役員の方からお店の歴史や古町に対する思いを語ってもらうなど、参加者は古町の魅力について再認識している様子でした。

社会保険労務士法人 西山経営労務事務所
 労働保険事務組合 企業経営支援研究会
 一人親方団体 新潟建設建築技能者組合
 ◆就業規則・諸規則の作成・改正
 ◆社会保険・労働保険等の手続
 ◆コンプライアンス・個人情報保護・マイナンバー対応
 ◆労災保険特別加入(事業主・役員・一人親方)
 TEL025-256-8373 FAX025-256-8374
 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14 和合ビル2F(駐車場多数完備)

キレイにするならおまかせ下さい

- レンタルモップ
- ロゴ入りマット
- タオル、芳香剤
- 空気清浄機
- レンタル浄水器
- 洗剤、おそうじ用品

タスキン万代
 〒950-0908 新潟市中央区幸西4-3-28 ☎(025)241-6141(代)

不動産鑑定・コンサルティング

- ◆ 売買・交換・担保・賃貸・M&A・相続・事業承継対策。
- ◆ 任意整理・債権譲渡・訴訟・現物出資・時価減損会計。

不動産鑑定士 伊藤 正弘
株式会社 北辰鑑定リサーチ
 新潟市中央区学校町通2番町598番地32
 Tel 025-222-2134
 Fax 025-222-2133 E-mail:hokushin@hokushin.info

税理士法人 小川会計 株式会社 小川会計コンサルティング

- ◆ 税務・財務アドバイザー業務
- ◆ 経営改善支援・企業再生支援
- ◆ 事業承継、相続対策支援
- ◆ 後継者・若手経営者支援

本 店 〒950-0812 新潟市東区豊2-6-52 TEL 025-271-2212
 長谷部事務所(亀田支店) 〒950-0152 新潟市江南区亀田緑町3-2-8 TEL 025-382-4740
 志賀事務所(中央支店) 〒950-0993 新潟市中央区上所中1-8-17 TEL 025-285-2633
<http://www.ogawakaikai.co.jp/> (mail) o-g-k@ogawakaikai.co.jp

株式会社 K B S

- ◆ 経営計画作成支援
- ◆ 人事制度改善支援
- ◆ ISO認証取得支援
- ◆ 内部統制構築支援

タネマキスキー BSN 65 はくつくま